

4. 第11回保健医療協力・人口家族計画協力 プロジェクト・リーダー会議資料

I	第11回保健医療協力・人口家族計画協力 プロジェクト・リーダー会議日程	77
II	第11回保健医療協力・人口家族計画協力 プロジェクト・リーダー会議出席者一覧表	78
III	昭和62年度医療協力事業及び災害援助協力事業予算・事業概要	80
IV	昭和62年度事業実施状況	80
	1. 現行プロジェクト一覧	80
	(1) 保健医療協力プロジェクト	80
	(2) 人口家族計画協力プロジェクト	81
	2. 国際緊急援助隊	82
V	医療協力事業の動向	83
VI	医療協力事業主要課題	83
VII	63年度ODA一般会計政府原案（政府全体）	84
VIII	昭和63年度国際協力事業団予算額（政府全体）	85
IX	63年度ODA予算のポイント	86
X	63年度保健医療・人口家族計画協力費	88

【 第11回保健医療・人口家族計画プロジェクト・リダー会議日程】

月日	時間	内容	場所
2.15 (月)	09:45-12:00 14:00-	・会議日程ブリーフィング・挨拶交換・視察手続 ・全体会議 1. 閉会の挨拶 (1)国際協力事業団 中田ロコ建設 (2)外務省 技術協力課長 (3)文部省 国際企画課長 (4)厚生省 国際課長 2. 閉会挨拶 3. 閉会挨拶 4. 安全対策について 5. 閉会挨拶 6. カウンタートパートの受け入れについて 7. 閉会挨拶 8. 閉会挨拶 ・懇談会(中田ロコ建設主催)	国際協力センター 国際会議場
2.16 (火)	09:45-11:45 12:15-14:10 14:30-17:30 18:30-20:30	・全体会議(閉会挨拶) ・懇談会(閉会挨拶) ・閉会挨拶 ・懇談会(外務省等主催)	国際協力センター 国際会議場 訂正会即
2.17 (水)	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00	・個別会議: エジプト カイロ大学小児病院 ・個別会議: ネパール 保健対策 ・個別会議: イエメン 保健対策	第6会議室(45F) " "

2.18 (木)	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00	・個別会議: フィリピン 熱帯医学研究所 ・個別会議: 中国 肢体障害者リハビリテーション ・個別会議: パキスタン イスラマバード小児病院	第6会議室(45F) " "
2.19 (金)	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00 18:00-20:00	・個別会議: ブラジル ペルナムプロ大学免疫学センター ・個別会議: ネパール トリバン大学医学教育 ・個別会議: インドネシア 北スマトラ州保健センター ・個別会議: スリランカ スリジャヤワラルダナプララ組合病院	第6会議室(45F) " " "
2.20 (土)	10:00-12:00 13:30-15:30	・個別会議: インドネシア 薬品品質管理 ・個別会議: 人口家族計画国内委員会 ・個別会議: ビルマ 消化器熱帯症研究	第6会議室(45F) 第2会議室(48F) 第6会議室(45F)
2.22 (月)	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00	・個別会議: コロンビア 巧手術熱帯性感染疾患診断技術開発 ・個別会議: タイ 国立衛生研究所 ・個別会議: フィリピン 全国医薬品検定センター	第7会議室(46F) " "
2.23 (火)	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00	・個別会議: 中国 中日友好病院 ・個別会議: スーダン ハルツーム教育病院 ・個別会議: ケニア 中央医学研究所	第6会議室(45F) " "
2.24 (水)	10:00-12:00 13:30-15:30 16:00-18:00	・個別会議: ガーナ 野口記念医学研究所 ・個別会議: タイ プライリー・ハラス・ケ7訓練センター ・個別会議: パキスタン 看護教育	第6会議室(45F) " "
2.25 (木)	10:00-12:00	・全体会議: 閉会とりまとめ	国際協力センター 国際会議場

II 第11回国保健医療 - 人口家族計画プロジェクトリーダー会議出席者一覧表

昭和63年2月15日
医 療 協 力 部

1. チーム・リーダー及びチーム・リーダー代行等

No	国名	プロジェクト名	協力の期間	専門姓氏名	職務	派遣期間	備考
1	マニラ	消化器感染症研究	61.3.~65.2	坂田 英 彦 技	リーダー代行	62.2.22 ~ 64.2.21	
2	中国	中日友好病院	66.11.~64.10	島 藤 哲 人	リーダー	62.6.2 ~ 63.6.1	
3	中国	肢体障害者リハビリテーション	61.11.~66.11	加藤 幸 男	リーダー代行	62.8.28 ~ 64.8.27	
4	インドネシア	薬品品質管理	60.4.~63.3	山口 定 男	リーダー	62.2.26 ~ 63.3.31	
5	ネパール	トリバン大学医学教育	55.6.~63.6	岸崎 義 則	調整員	60.12.2 ~ 61.6.30	長期専門家未派遣
6	ネパール	結核対策	62.4.~67.4	藤 森 岳 夫	リーダー	62.8.26 ~ 64.8.25	
7	ネパール	地域母子保健対策・家族計画	60.10.~65.10	綿引 信 哉	リーダー代行	61.4.27 ~ 63.4.26	
8	パキスタン	イスラマバード小児病院	61.7.~66.6	川 部 大 實	リーダー	61.12.22 ~ 63.12.21	
9	パキスタン	看護教育	62.7.~65.6	村 越 俊 雄	リーダー	62.12.14 ~ 65.6.30	
10	フィリピン	熱帯医学研究所	55.10.~63.3	金子 義 徳	リーダー	58.5.16 ~ 63.3.31	
11	フィリピン	食品医薬品検定センター	61.7.~66.7	柴崎 利 雄	リーダー代行	62.5.17 ~ 63.5.16	
12	フィリピン	家族計画	49.4.~64.3	山下 市 子	リーダー	58.9.29 ~ 64.3.31	
13	スリランカ	スリジャヤワルダラ病院	61.4.~65.4	安藤 留 美 子	リーダー代行	61.10.21 ~ 63.10.20	
14	タイ	国立衛生研究所	60.8.~65.7	金 井 興 美	リーダー	62.6.15 ~ 65.7.31	
15	タイ	家族計画	49.4.~64.3	岩 柳 信 也	調整員	60.1.10 ~ 64.3.31	長期専門家未派遣
16	エジプト	カイロ大学小児病院	58.7.~63.6	立 山 恭 子	リーダー	61.5.20 ~ 63.6.30	
17	スーダン	ハルツーム教育病院	60.4.~65.3	才 田 裕 夫	リーダー代行	62.11.26 ~ 63.11.27	
18	イエメン	結核対策	50.9.~63.8	立 石 昭 三	リーダー	62.3.6 ~ 63.8.31	

19	ケニ	ア	中央医学研究所	60.5.~65.4	5年	中尾	リ一ダ一	62.7.17 ~ 64.7.16	
20	ガ一	ナ	野口記念医学研究所	61.10.~66.9	5年	中野	リ一ダ一	62.2.21 ~ 64.2.20	
21	ブラ	ジ	ヘルナンズ医科大学疫学センター	59.5.~64.5	5年	黒野	リ一ダ一	61.9.12 ~ 64.5.24	
22	コロ	ン	マリア等熱帯性感染症診断技術開発	61.10.~64.9	3年	神山	リ一ダ一代行	62.3.25 ~ 63.12.28	
23	コロ	ン	家族計画・母子保健	60.11.~65.11	5年	尾崎	調整員	61.2.10 ~ 64.2.9	長期専門家派遣
24	メキ	シ	人口動態・動促進	59.7.~63.9	5年	藤田	リ一ダ一	61.9.17 ~ 63.9.30	
(アセアン人選りプロジェクト)									
1	タ	イ	ブライマリーヘルスケア訓練センター	57.10.~64.9	7年	鈴木	調整員	61.5.12 ~ 63.3.31	長期専門家派遣

2. オブザーバー等

No	山	名	ア	ロ	シ	エ	ク	ト	名	区	力	期	間	専	門	家	氏	名	職	務	派	遣	期	間	備	考						
1	イ	ン	ド	ネ	シ	ア	北	ス	マ	ト	ラ	地	域	保	健	対	策	菊	池	賢	治	員	62.3.27 ~ 64.3.31									
2	エ	シ	ブ	ト	カ	イ	ロ	大	学	小	児	病	院	伊	佐	二	久	チ	ーム	リ	ー	ダ	ー	63.5. ~ 65.5.								
3	バ	ラ	グ	ア	イ	シ	ャ	ー	ガ	ス	洞	等	寄	生	虫	疫	研	究	川	端	真	人	チ	ーム	リ	ー	ダ	ー	63.4. ~ 期間未定			
4	フ	イ	リ	ビ	ン	食	品	医	薬	品	検	定	セ	シ	タ	ー	氏	家	淳	雄	チ	ーム	リ	ー	ダ	ー	63.5. ~ 65.5.					
5	ハ	ン	グ	ラ	テ	シ	ャ	リ	ュ	マ	マ	熱	性	心	疾	患	抑	制	メ	カ	吉	武	克	宏	チ	ーム	リ	ー	ダ	ー	63.9. ~ 65.8.	

昭和62年度医療協働事業及び災害援護協力事業予算・事業概要

科 目	認 可 予 算 額		仲 率	62年度事業主要計画
	61年度	62年度		
1. 保健医療協力費	千円	千円	%	
調査団派遣経費	4,013,276	4,330,798	107.9	①調査団件数40件, ②機材修理テーマ参加民間技術者に技術費を支給 派遣人数473人(長期96人, 短期354人, 大学教授23人)
専門家派遣経費	179,467	276,678	154.2	
機材供与経費	2,211,142	2,092,922	△105.6	プロジェクト費1件, アフターケア4件, 特別機材7件, 感染症対策協力機材5件
プロジェクト実施経費	1,571,968	1,898,707	120.8	
2. 人口家数計画協力費	50,699	62,491	123.3	
調査団派遣経費	909,843	950,447	104.5	
専門家派遣経費	80,485	100,848	125.3	①調査団件数10件, ②機材修理テーマ参加民間技術者に技術費を支給 派遣人数45人(長期17人, 短期28人)
機材供与経費	259,886	246,126	△105.6	
プロジェクト実施経費	552,487	585,567	-106.0	
3. 技術協力センター費	1,6985	17,906	105.4	
4. 災害援護協力費	1,000,000	1,000,000	—	①調査団1件, ②専門家派遣人数8人, ③機材供与1件 ④中堅技術者養成対策事業

※ 予算管理は社会開発協力部にて実施

昭和62年度事業実施状況

1. 現行プロジェクト一覧

(1) 保健医療協働プロジェクト

(1)-1 医療協力推進当

国	都府県	市町村	施設名	実施期間	仲率	備考
マ	マ	マ	消化器科診療向上	59.11.1~63.10.31	—	ア
シ	シ	シ	消化器急診室	60.3.1~65.2.28	—	イ
中	中	中	中野区研研院	56.11.19~64.10.22	—	ロ
中	中	中	核燃料貯蔵リハビリティセンター・研究センター	61.11.29~66.11.24	—	ハ
イ	イ	イ	薬品品質管理	58.4.1~63.3.31	—	ニ
イ	イ	イ	北スマトラ地方健康対策	53.4.1~64.3.31	—	ヘ
伊	伊	伊	母子保健	59.8.1~64.7.31	—	ホ
ホ	ホ	ホ	トリブアン大学医学教育	55.6.20~63.6.19	—	ロ
ホ	ホ	ホ	岩手県小児科院	62.4.17~67.4.16	—	コ
ホ	ホ	ホ	岩手県小児科院	61.7.1~66.6.30	—	サ
ホ	ホ	ホ	岩手県小児科院	52.7.1~65.6.30	—	シ
フ	フ	フ	岩手県小児科院	55.10.17~63.3.31	—	セ
フ	フ	フ	岩手県小児科院	61.7.25~66.7.24	—	ソ
フ	フ	フ	岩手県小児科院	61.4.18~65.4.17	—	タ
フ	フ	フ	岩手県小児科院	57.10.1~64.9.30	—	チ
フ	フ	フ	岩手県小児科院	60.8.1~65.7.31	—	リ
エ	エ	エ	岩手県小児科院	58.7.1~63.6.30	—	テ
ス	ス	ス	岩手県小児科院	60.4.1~65.3.31	—	ト
イ	イ	イ	岩手県小児科院	58.9.1~63.8.31	—	ニ

(1)-2 医療特別機材実施案件リスト

地域	国名	案件名	主要機材	金額(千円)	要請機関	進捗状況	GNP(US\$) P/C'83
アジア	中国	癌検診用機材	顕微鏡・顕微鏡	35,000	河北省癌検診センター	贈送手続中	290
	タイ	EDM対策	レーザーメス	35,000	チュラロンコン大学	送付済み	810
	バンダラデナム	家族計画用機材	発泡錠錠剤	30,000	保健省	贈送手続中	130
中近東	ペトナム	チャムライ病院	病院用機材	30,000	チャムライ病院	納入済済み	94
	モロッコ	消化器科診断機材	内視鏡	50,000	アビセンヌ総合病院	贈送手続中	750
アフリカ	チュニジア	眼科用機材	アルゴンレーザー他	60,000	ラバタ病院	送付済み	1,290
中南米	ブラジル	日伯病院用機材	内視鏡他	60,000	日伯友好病院	贈送手続中	1,890
Total				300,000			

(1)-3 大学教授・単発専門医派遣

	62年度予定員	62.1.2.3.1現在派遣数
単発専門家	47	26 ※
大学教授等	23	12

※のうち13名は感染症調査団として派遣。

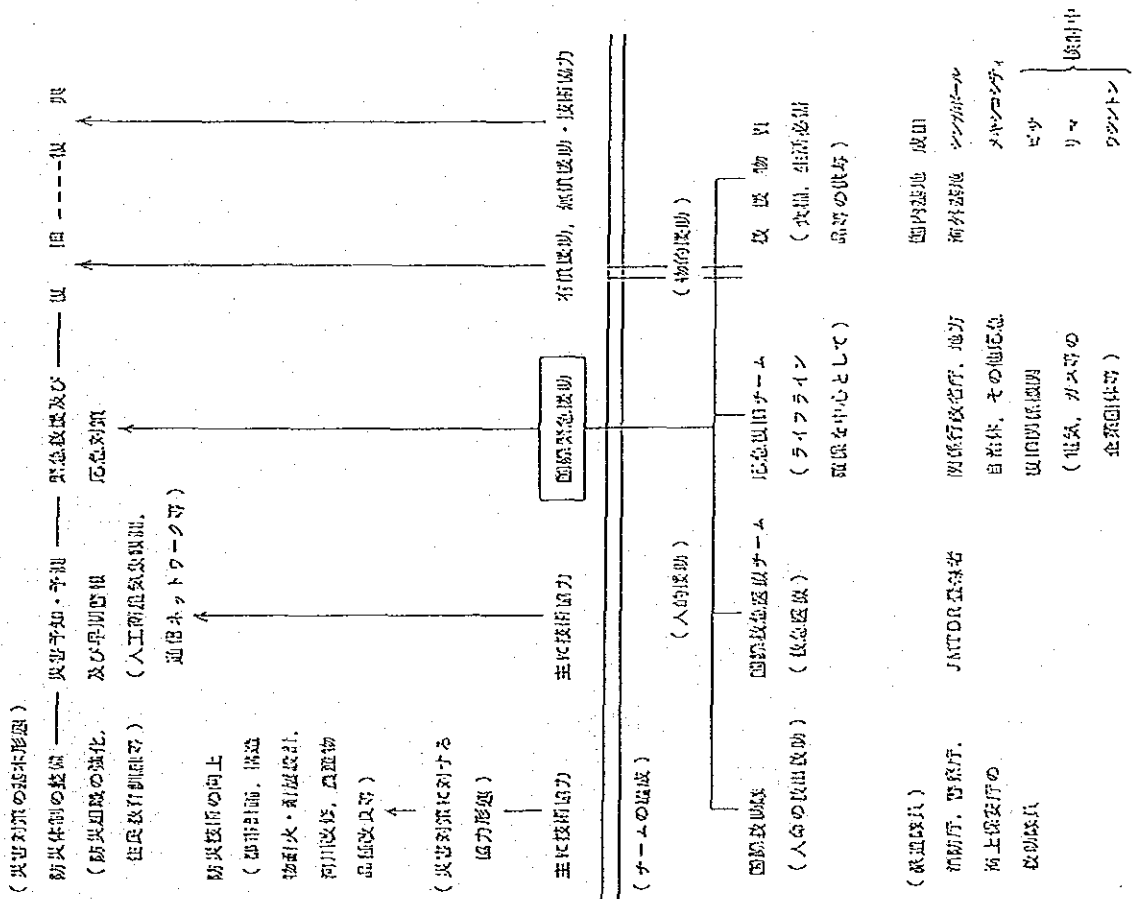
(2) 人口家族計画協力プロジェクト

(2)-1 医療特別業務担当

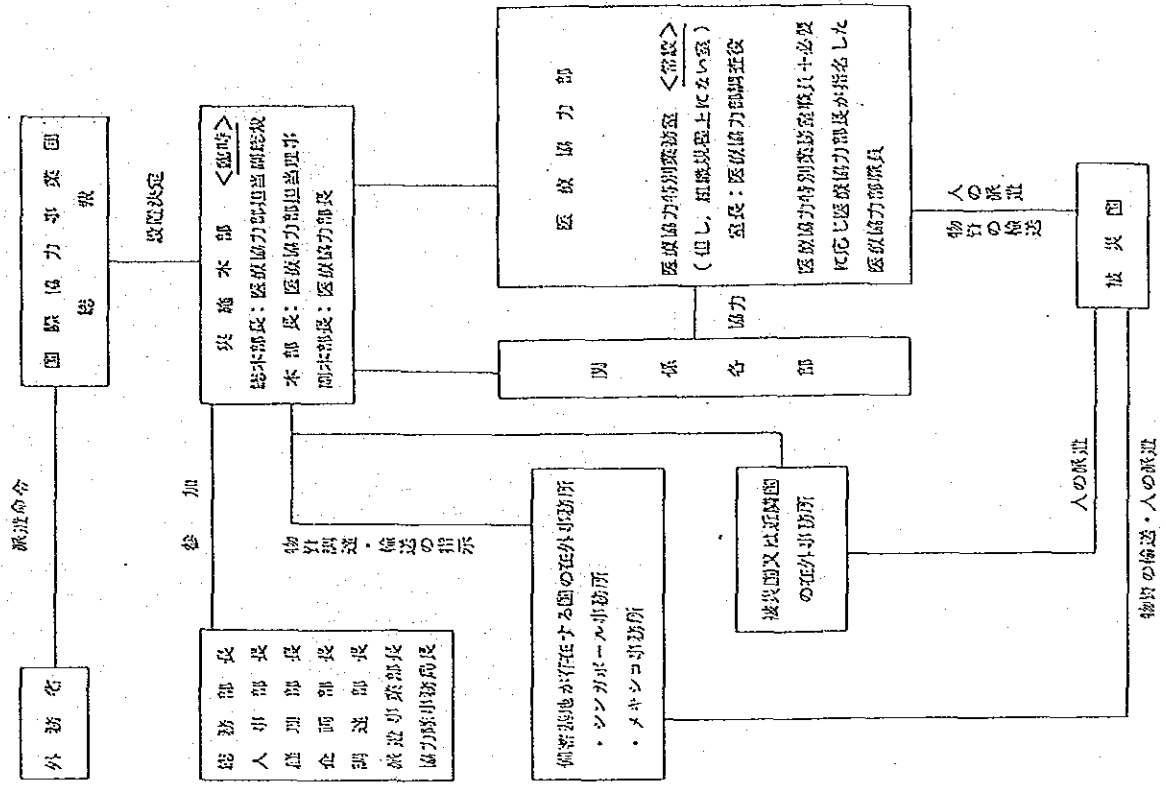
中	国	人口家族計画	地域母子保健対策・家族計画	家族計画	家族計画	人口情報
ネパール	フィリピン	タイ	スリランカ	中	南	米
57.1.1.15~62.1.1.14	60.10.7~65.10.6	49.4.1~64.3.31	49.4.1~64.3.31	62.1.1.30~65.1.1.29	60.1.1.8~65.1.1.7	59.7.4~63.9.30

2. 国際緊急援助隊

(1) 国際緊急援助体制 説明資料



(2) 国際緊急援助隊業務実施体制



V 医療協力事業の基本的動向

協力パートナーの多様化/メニエーター化

1. 保健医療協力プロジェクト

病院等の臨床医学協力 1 3 件

研究所等研究協力 7

地域保健・公衆衛生 4

保健医療技術者養成訓練 4

医薬品、ワクチン、食品の安全性・品質管理 2

2. 人口家族計画協力プロジェクト

母子保健 4 件

人口教育 1

人口統計 2

調査研究 2 (検討中)

3. 感染症対策協力(本年度新規機材供与事業)

5 件(ビルマ、ネパール、スリランカ、北イエーメン、モルディブ)

VI 医療協力事業の主要課題

1. 専門家リクルート

医師である長期専門家の確保が困難である。しかしながら国内協力機関への強力な働きかけ及び厚生省立病院医原センター国際医療協力部の協力もあって、最近では徐々に好転してきている。

2. 機材問題

機材の贈送に際し、要領の遅れ、医療機材は特に専門性が高く、仕様の詰り手間が掛る等により、とかくその執行が捗らない。このため、プロジェクト実施においてより一層の計画性を図り、仕様・価格の詰りには外部委託を進める等によりこれに対応しているが内部にかいても技術アドバイザー等の確保が課題である。

供与機材のメンテナンス問題については、本年度には機材修理チームに参加する民間エンジニアに對する技術費が認められ、保守管理面のフォローの充実の一助となっている。

3. プロジェクト・ファインディング

プロジェクト・ファインディングにおいて、従来の要請ベースではとかく受け身の協力になりがちである。このよりの反省に立って、近年海外医療協力委員会においても本問題がとりあげられ、研修員受入事業における共同コースのオフィサーと同様に、医療協力事業の協力パートナーをメニエーター化し(前述の医療協力事業の基本的動向参照)、これを適正オフィサーするやり方が検討されている。当部としては、上記委員会に専門部会を発足させてこれに充てる考えである。また、関連プロジェクトの進捗、マルチとのリンク等の促進も課題である。

4. 臨床科関係長期専門家派遣の拡充

03年度予算に新たに認められたものであり、定年退職者等現に所長先を有しない医師等の活用により、臨床医の積極的派遣を図り、当該国住民のみならず、在任日本人への医療サービスにも貢献することを意図するものである。現在その実施方法につき検討中である。

63年度ODA一般会計政府原案
(政府全体)

昭和63年1月
外務省経済協力局

(単位：億円，%)

	61年度		62年度		63年度	
	予算額	増加額 伸率	予算額	増加額 伸率	政府原案 増加額	伸率
I. 贈与	4,039	276 7.3	4,242	202 5.0	4,515	273 6.4
1. 二国間贈与	3,333	270 8.8	3,542	209 6.3	3,765	223 6.3
(1) 経済開発等援助	1,240	90 7.8	1,340	100 8.1	1,471	131 9.8
(2) 食糧増産等援助	610	16 2.6	545	▲65 ▲10.6	459	▲86 ▲15.8
(3) 技術協力	1,483	164 12.5	1,657	173 11.7	1,834	177 10.7
2. 国際機関への出資・拠出	706	6 0.8	700	▲7 ▲0.9	751	51 7.3
(1) 国連等諸機関	613	▲25 ▲3.9	534	▲79 ▲12.8	502	▲32 ▲6.0
(2) 国際開発金融機関	94	31 48.6	166	72 76.8	249	83 50.0
II. 借入	2,181	134 6.5	2,338	58 7.2	2,495	157 6.7
(1) 海外経済協力基金	2,118	133 6.7	2,279	161 7.6	2,453	174 7.6
(2) その他	63	1 1.6	59	▲4 ▲5.6	42	▲17 ▲28.8
合 計	6,220	410 7.0	6,580	360 5.8	7,010	430 6.5

(注) 四捨五入の関係上不一致あり。

昭和63年度国際協力事業団予算額
(政府原案)

62年12月28日

(単位:千円)

区 分	62年度 予 算 額	伸 率	63年度 政府原案	伸 率	対前年度 増△減額
国際協力事業団事業費	103,555,133	108.2	108,582,164	104.9	5,027,031
国際協力事業団交付金	98,833,133	108.8	106,207,164	107.5	7,374,031
1. 海外技術協力事業費	82,489,260	109.0	89,507,106	108.5	7,017,846
(1) 研修員受入費	13,896,274	109.8	15,031,455	108.2	1,135,191
(2) 青年招へい費	1,474,009	122.3	1,596,157	108.3	122,158
(3) 専門家派遣費	10,103,786	107.0	11,753,188	116.3	1,649,402
(4) 機材供与費	2,085,556	115.0	2,217,606	106.3	132,050
(5) 技術協力センター費	8,062,156	109.8	8,926,196	110.7	864,040
(6) 保健医療協力費	4,287,605	107.9	4,545,635	106.0	258,030
(7) 人口家族計画協力費	940,620	104.5	966,887	102.8	26,267
(8) 農林業協力費	7,841,978	104.1	8,337,247	106.3	495,259
(9) 産業開発協力費	1,852,302	110.1	2,020,906	109.1	168,604
(10) 青年海外協力隊派遣費	9,589,290	108.7	10,209,840	106.5	620,550
(11) 専門家等福利厚生費	489,484	102.5	560,223	114.5	70,739
(12) 専門家養成確保費	1,213,098	118.4	1,332,618	109.9	119,520
(13) 開発調査費	14,952,833	108.0	15,903,943	106.4	951,110
(14) 開発協力費	892,163	101.8	926,847	103.9	34,684
(15) 無償資金協力費	2,918,779	130.1	3,284,917	112.5	366,138
(16) 災害援助等協力費	1,000,000	100.0	1,000,000	100.0	0
(17) 援助効率促進費	889,327	—	893,421	100.5	4,094
2. 海外移住事業費	2,325,474	107.8	2,409,449	103.6	83,975
3. 管 理 費	14,018,399	107.4	14,290,609	101.9	272,210
国際協力事業団出資金	4,722,000	97.3	2,375,000	50.3	△2,347,000
1. 開発投融資資金出資金	1,000,000	100.0	200,000	20.0	△800,000
2. 移住投融資資金出資金	900,000	72.0	0	0.0	△900,000
3. 施設取得等出資金	2,822,000	103.5	2,175,000	77.1	△647,000

63年度ODA予算のポイント

63年1月
経済協力局

1. 「第三次中期目標達成に向けて着実に前進」

一般会計	政府全体	7,010億円	6.5%増
	外務省	3,297 "	6.2%増
事業予算	政府全体	1兆3,487億円	8.8%増

(増額の最大の原因は、OECD事業予算が7,347億円、7.8%増となったため、62年度は、△4.1%であったためこれに比べ、大幅に増額)

2. 「質の改善」に資する予算

(1) 贈与

特に、一般会計予算の高い伸び

○ 一般会計贈与総額	4,515億円	6.4%増
二 国 間 贈 与	3,765 "	6.3%増
無償資金協力	1,471 "	9.8%増
技 術 協 力	1,834 "	10.7%増
内 JICA	1,084 "	7.0%増
国際機関への協力	751 "	7.3%増

(2) 借款

OECDの事業規模が対前年度比7.8%増の7,347億円と大幅な増額

3. 実施体制強化

外務省定員 (経協関係)	本省 4名	在外 10名
JICA定員	純増 6名 (974人-980人)	
機構	調運部次長 (振替)、調運部専門調査役 (新規)、医療協力部調査役 (新規)、国際協力総合研修所技術情報課長 (新規)、セネガル事務所 (振替)	

4.

その他の特記事項

JICA

①研修員受入人数	200人増 (4,920人-5,120人)
②専門家派遣人数 (民間技能者派遣120人新規増)	196人増 (1,339人-1,535人)
③青年海外協力隊新規派遣人数	30人増 (880人-910人)
④青年招聘事業 (太平洋地域60名増、ヒルマ10名増)	70人増 (1,030人-1,100人)
⑤無償資金協力調査拡充	16件増 (379件-395件)
⑥開発調査拡充	16件増 (259件-275件)
⑦科学技術協力の拡充	6.6-13.9億円
⑧援助効率促進費	9億円(主に関連予算の組替え)
⑨「北九州国際研修センター」 (仮称)建設費(63年度分)	17.5億円

63年度保健医療・人口家族計画協力費

昭和63年2月4日
外務省経済協力局

1. 「保健医療協力費」の政府予算原案の内容

- (1) 63年度は 6.5% 増の要求に対し 6.0% 増の伸び
- (2) 内容としては以下の要求が新規に認められた。
- (イ) 調査団件数の件数増 2件 (32 → 34件, 事前, 機材実施計画策定調査各1件)
 - (ロ) 専門家派遣人数の増 15人 { 長期15人 (364 → 379人, うち臨床関係専門家9人含む)
短期0人 }
 - (ハ) 学術書籍供与 (0 → 3.5百万円)
 - (ニ) 機材実施計画策定調査費 (0 → 9.9百万円)
 - (ホ) 感染症対策協力機材費 245百万 (62年度と同額)

(参考) 過去4ヶ年の推移 ()内は対前年度伸び率

年度	要 求	政府案 (億円)
60	40.0 (13.4%)	37.3 (5.9%)
61	42.3 (13.2%)	40.1 (7.5%)
62	43.6 (8.6%)	42.9 (6.8%)
63	45.7 (6.5%)	45.5 (6.0%)

2. 「人口家族計画協力費」の政府予算原案の内容

- (1) 63年度 5.4% 増の要求に対し 2.8% 増の伸び
- (2) 内容としては以下の要求が認められた。
- (イ) 専門家派遣人数の増 4人 { 長期3人 (37 → 41人)
短期1人 }

(参考) 過去4ヶ年の推移 ()内は対前年度伸び率

年度	要 求	政府案 (億円)
60	8.6 (5.1%)	8.3 (1.8%)
61	8.8 (6.4%)	9.1 (9.8%)
62	9.5 (4.7%)	9.4 (3.4%)
63	9.9 (5.4%)	9.7 (2.8%)

5. 第11回保健医療・人口家族計画プロジェクト・リーダー会議の特徴

1. 参加リーダーについては、質量共に充実・レベルアップが著しく、総裁のあいさつ通り「20年前と比べ隔世の感」があった。

なかでも、初のJICA職員リーダーが出現し、外部の専門家リーダーとひと味違ったリーダーシップがみられ、注目を惹いた。今後、特にプロジェクトの立上がり段階においては、JICA職員リーダーの登用が考慮されよう。

2. 全体会議において、プロジェクトの効果的な運営に関し、関連プロジェクト間のリンク、無償資金協力、協力隊・WHO等国际機関等の他協力形態との連携等、広い視野に立った、活発な討議が展開された。

特に、同種協力部門（病院等の臨床医学協力、研究所等の研究協力等）におけるプロジェクト間横断的情報交換を促すこととなり、実際に今次会議中にワークショップを開始した。

現業面においては、機材調達、その維持管理、専門家の指導計画・携行機材・業務報告等について種々の改善策が検討されたが、特に公金管理に関し、厳しい姿勢で対することとし、これまで年1回であった会計報告を四半期毎におこなう等積極的な改善を実施することが合意された。

3. 16日の全体会議における総裁との懇談会時に、外務大臣の国際協力センターの視察がおこなわれ、リーダー会議にも出席されて、ご挨拶をいただいた。

JICA